

～平成29年度 当初予算をお知らせします～

② 教育費 [10億274万円] ～子どもが健やかに、たくましく育つまち など～

小中学校一般管理事業

児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークに慣れ親しみ、基本的操作や情報モラルを身に付けるための学習環境の整備を目的として、各小・中学校にICT機器を導入します。
※ICT：情報通信技術

小学校大規模改造事業

安全安心な教育環境の充実のため、老朽化した熊野第一小学校東校舎の大規模改造実施設計を実施します。

町民会館施設管理事業

快適な文化施設、生涯学習施設とするため、老朽化した熊野町民会館の空調設備の改修工事および駐車場の整備工事を行います。

④ 土木費 [7億5,833万円] ～暮らしの基盤が整ったまち・日常生活を快適に暮らせるまち など～

都市再生整備事業

専用住宅地である熊野団地を次世代へつなぐため、住環境を保全し、利便性の高いまちづくりを推進します。計画4年目である今年度は道路・側溝、ポケットパークの整備などを行います。

子育て世代「住むならくまの」応援事業

住宅購入費の助成により、若年層の定住を促進し、人口の維持・地域の活性化を図るため、「子育て世代『住むならくまの』応援事業」を、引き続き実施します。

町道呉出来線改良事業

主要町道である町道呉出来線の狹隘区間（横ヶ迫交差点付近）を拡幅し交通の利便性と町内交通ネットワークの向上を図ります。

下水道整備事業

公共下水道事業では、新宮、中溝、呉地地区の、約5.52haの整備を行います。また、熊野団地の一部の老朽管調査と熊野団地全体の老朽管路施設修繕改築計画の策定を行います。

⑤ 衛生費 [6億7,268万円] ～共に支えあい、健やかに暮らせるまち・地球環境に調和したまち など～

廃棄物収集運搬事業

資源物Ⅱ（びん類・缶類）の収集を、2週目および4週目の収集から毎週収集に変更します。

⑦ 消防費 [3億5,585万円] ～安全に安心して暮らせるまち～

災害予防及び応急対策事業

（仮称）防災コミュニティセンター建築工事や、防災行政無線デジタル化実施設計、ハザードマップの作成を行います。


⑥ 公債費 [6億4,159万円] ～町の借金返済に～

平成29年度当初予算と一体的に執行します！
～平成28年度補正で関連予算が可決～

○定住促進拠点施設整備事業

国の補正予算により措置された「地方創生拠点整備交付金」を活用し、旧西公民館の耐震補強工事、改修等を行い、「子育て支援施設」、「移住・定住情報発信拠点施設」、「就業支援施設」、「地域コミュニティ施設」として活用する多機能施設の整備を行います。

これらの整備に必要な経費は平成28年度補正予算で可決されたため、平成29年度当初予算と一体的に実施していきます。



⑧ その他 [3億3,707万円] ～元気のある産業が育つまち など～

商工振興事業

くまの産業団地で操業を開始された事業所に対し、企業立地奨励金や町内からの雇用に対する奨励金を交付することで、町内からの雇用拡大を図ります。

※各説明の番号は棒グラフ中の番号と対応しています。

① 予算科目・予算額
～施策目標～

平成29年度の主要事業

問財務課 ☎ 820 - 5 6 3 2

平成29年度当初予算が3月定例会で可決されました。

■一般会計（福祉、道路、教育など町が一般行政を進めるための収入、支出を経理する会計）

一般会計では、引き続き、第5次熊野町総合計画に沿った取り組みを推進していきます。
西部ふれあい広場整備、（仮称）防災コミュニティセンター等の、熊野団地の住環境を保全し利便性の高いまちづくりを推進する都市再生整備事業、生活福祉交通の運行や生活道路の改良、子育て支援の充実や学校施設の大規模改修などを重点的に推進することとし、予算規模は前年度比4.8%減の81億693万円となりました。（※数字については、表記単位未満を四捨五入しています。）

町民1人当たりの予算
33万4,486円

平成29年2月末 現在
人口2万4,237人（外国人を除く）

① 民生費 [33億4,541万円]
～共に支えあい、健やかに暮らせるまち など～

都市再生整備事業

西部ふれあい広場の整備工事を実施します。

次世代育成支援対策事業

これまでの子育て支援策に加えて、保健師等専門職が妊娠期から子育て期にわたって継続して関わり、切れ目のない包括的支援の実施や、妊娠期から産後にかけて家事等に支援が必要な家庭にヘルパーを派遣する「産前・産後ヘルパー派遣事業」を新たに開始します。これらの子育て支援のワンストップサービスを実現するため、子育て世代包括支援センターとして窓口を一本化します。

③ 総務費 [9億9,326万円]
～筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまち など～

町制施行100周年記念事業

平成30年10月に町制施行100周年を迎えるに当たり、PRや活性化等の記念事業に着手します。

筆の里工房事業

老朽化対策のため、筆の里工房の音響設備改修工事、空調設備改修の実実施設計を行います。

生活福祉交通運行事業

平成25年度から本格運行を始めた生活福祉交通「おでかけ号」を、今年度も引き続き運行します。

一般会計
81億693万円 [対前年度比 4.8%減]

歳出		歳入	
① 民生費 41.3%	23億4,543万円	自主財源（町が自主的に収入する財源） 41.6%	町税 28.9%
② 教育費 12.4%	5億3,371万円	依存財源（県や国から交付される財源） 58.4%	繰入金 6.6%
③ 総務費 12.3%	3億73万円		諸収入 3.7%
④ 土木費 9.4%	1億9,487万円		その他 2.4%
⑤ 衛生費 8.3%	19億8,349万円	地方交付税 24.5%	
⑥ 公債費 7.9%	11億2,997万円	国庫支出金 13.9%	
⑦ 消防費 4.4%	5億6,912万円	県支出金 7.0%	
⑧ その他 4.0%	5億6,281万円	町債 7.0%	
	4億8,680万円	その他 6.0%	

■特別会計および企業会計

特定の事業を行うため、一般会計とは別に、その収入支出を経理する会計

会計名	平成29年度	平成28年度	対前年度比
国民健康保険事業特別会計	36億5,554万円	37億6,894万円	▲3.0%
公共下水道事業特別会計	8億9,360万円	9億2,340万円	▲3.2%
後期高齢者医療特別会計	6億3,183万円	5億9,507万円	6.2%
介護保険特別会計	21億272万円	20億4,828万円	2.7%
上水道事業会計	収益的支出 4億8,252万円	4億8,357万円	▲0.2%
	資本的支出 7,382万円	7,084万円	4.2%